

渡邊・レグナー・嘉子さん

DeJak（文化を配慮した介護）-友の会代表

略歴

静岡県湖西市出身。立教大学大学院修士課程修了。1978年から東京の大学で英語講師を勤めた後、1981年渡独。ベルリン工科大学およびベルリン自由大学にて教育学、現代史、日本学専攻。ベルリン自由大学およびボフム大学等で日本語講師。2012年、ドイツ在住の日本人の高齢化問題に対応するため、ドイツ全国規模のDeJaK（デーヤク、文化を配慮した介護）-友の会を設立。以後日独高齢者問題に関する情報収集とその普及活動および公共機関への働きかけなどで活躍。

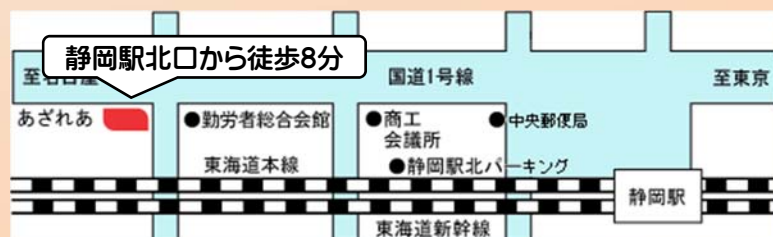


ドイツの介護事情や認知症ケアに詳しい渡邊・レグナー・嘉子さんをドイツからお招きして、ドイツの介護制度と認知症ケアの最新状況を学びます。

平成29年 2月26日（日）

14:00～16:00（開場13:30）

あざれあ501会議室

<http://www.azarea-navi.jp/>

参加自由・事前申込不要・参加費無料

主催 認知症ケアの倫理と法研究プロジェクト（科研費研究代表者：松田純）

後援 特定非営利活動法人ヒューマン・ケア支援機・静岡大学人文社会科学部

問合せ：堂園 俊彦 dozono.toshihiko@shizuoka.ac.jp/054-238-4488

認知症の人とその家族のための有資格ボランティアの制度

ドイツにおける介護